

マリンレジャー安全レポート

第七管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室
TEL093-321-2931 (担当; 櫻谷)

第100号 平成26年1月

★年末年始特別警戒及び安全指導を実施しました★



第七管区海上保安本部は、国土交通省が実施する年末年始の輸送等に関する安全総点検に合わせ、平成25年12月10日から平成26年1月10日までの間、年末年始特別警戒及び安全指導を実施しました。

同期間中、残念ながら、長崎県の海域で遊漁船3隻の船舶海難が発生しています。

この遊漁船の3隻の船舶海難は、

①釣りを終えシーアンカーを揚収する際に、プロペラに絡ませ航行不能になり救助された。

②一旦機関を停止し、再起動しようとした際、機関部品の材質不良により再起動できず、曳航救助された。

③機関室内の天井から発火した。

事例でした

この他、特別警戒期間後には、長崎県の海域において、遊漁船が出港後に乗揚げ事故を起こしています。

それぞれの事故では、幸いにも死亡・行方不明者は発生しておりませんが、気象・海象状況によっては、転覆や高波にさらわれる等、人身事故に直結する危険があります。運航時は一緒に乗船したお客さんや釣り仲間、また海上においては相手船へ細心の注意を払った操船をお願いいたします。

★関係機関・団体と協力し、釣り人への安全指導を実施しました★



仙崎海上保安部では、長門市、長門警察署、長門市消防本部、九州磯釣り連盟山口県支部の5機関24名の皆様と協力し、年末年始特別警戒に併せ、長門市内の磯場を巡回しました。

この巡回は、磯釣りの方を対象に、仙崎海上保安部作成リーフレット（最終頁）をお渡しし、自己救命策の三つの基本である、

- ・ライフジャケットの常時着用
- ・防水携帯電話の携行
- ・海のもしもは「118番」

を中心に、気象・海象の早期把握、複数名行動の励行等、磯釣り時に十分注意してもらいたい内容を呼びかけました。



当日は報道機関の方も取材に訪れ、若干緊張した面持ちの保安部職員でしたが、引き続き地域の皆様と協力し、海浜事故の防止に努めていきます。

冬期における磯釣りは、狙いの魚を釣る絶好の時期ですが、季節風が強く、晴れていても波が高い状態が続き、気温、海水温度が低い季節でもあります。

海中転落などの事故にあえば、死亡・行方不明事故に繋がる可能性が非常に高いので、皆様十分に気を付けてください。

★児童デザインの「海浜事故防止啓発用立看板」が設置されました★



平成25年12月24日、長崎県佐世保市所在庵浦マリーナにおいて、海浜事故防止啓発用の立看板完成披露式が執り行われました。

この看板の設置は、公益財団法人海上保安協会がマリナー事故の減少を図る目的として取り組んでいるもので、佐世保市港湾部、地元海上保安協力員の皆様、佐世保市立庵浦小学校の皆さんの協力のもととても可愛らしい全国初の看板が完成、設置に至っています。



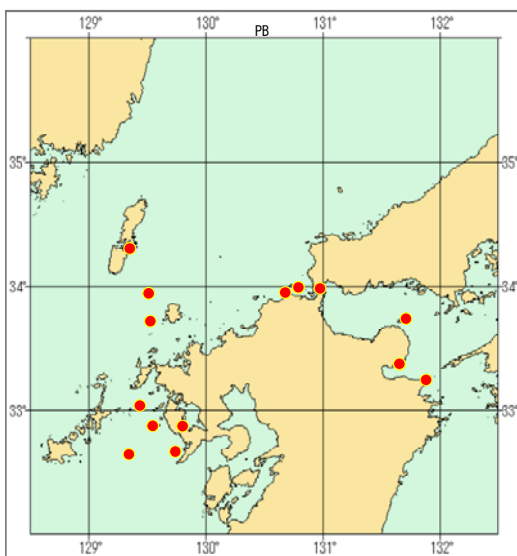
当日の完成披露式は天候にも恵まれ、関係者による立看板除幕式に引き続き、海上保安協会佐世保支部事務局長から児童への感謝状の贈呈、佐世保海上保安部長から関係者への記念盾の贈呈が行なわれました。

また、サンタクロース姿に変身したうみまるも応援にかけつけ、看板の完成に感謝していました。

海で釣りをされる皆さん、命を守るためのライフジャケットの着用をよろしくお願いいたします。

バックナンバーはこちら

http://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anken_report/



平成25年マリナー事故発生状況(速報値)					
船舶事故隻数			海浜事故者数		
海難種類	12月	累計	レジャー種類	12月	累計
衝突	4	33	釣り中		40
機関故障	4	43	遊泳中		40
乗揚げ	1	17	磯遊び		7
運航障害	5	30	スキューバダイビング		2
火災		4	サーフィン		1
推進器障害	1	20	ウェイクボード		3
浸水		5	水上オートバイ		1
安全障害		5	その他		12
転覆	1	6			
舵故障		1			
その他		8			

海で命を守る 3つのポイント

- ライフジャケットの常時着用
- 連絡手段の確保
防水携帯電話の携行!
- 海のもしもは「118番」

JCG 海上保安庁第七管区海上保安本部

磯釣り事故防止

家族は、石鯛よりあなたの
の帰りを待っています。



救命胴衣は、あなたを守ります。救命胴衣を着用しましょう。
海を甘く見ず、気象・海象の急変、高波に十分注意しましょう。

長門警察署

TEL 22-0110

緊急 110

仙崎海上保安部

TEL 26-0240

緊急 118

長門市消防本部

TEL 22-0119

緊急 119

釣りシーズン到来！事故の多発傾向あり！

☆自分の命を守る3つのポイント（自己救命策の確保）を励行しましょう

①ライフジャケットの常時着用～浮力の確保

万が一の場合、海に浮いていることが大切です。

ライフジャケット非着用者の死亡率は、着用者の約2倍というデータ（過去10年）があります。必ずライフジャケットを着用しましょう。

②携帯電話等の適切な連絡手段の確保～速やかな救助要請

万が一の場合には、速やかに救助要請をして下さい。そのためには、連絡手段として、**耐水タイプ又は防水パックに入れた携帯電話**を携行するなど適切な連絡手段を確保しておきましょう。

③110番・118番・119番の有効活用

海で事故に遭ったり、事故を知ったときには直ちにいずれかの番号で通報して下さい。関係機関と連携し、直ちに救助に向かいます。



防水パック



☆単独行動はやめ複数名で行動しましょう！

釣り中の海中転落では、複数で行動した方が、単独行動よりも約3倍の生存率が高くなっているというデータ（過去10年）があります。同行者による迅速な救助要請及び救助活動による結果と考えられます。

☆釣り場や帰宅時間を家族等に伝えましょう！

不慮の事故で連絡が取れない状況になった場合でも、家族等に行き先（釣り場）や帰宅時間を伝えていれば、早い時期に搜索場所を限定した効果的な搜索・救助活動が実施できます。

☆釣り場の地形や状況に注意しましょう！

立入が禁止されている場所や、足を滑らせて岩場や海中に転落するような危険な場所での釣りは、止めましょう。また、突然の高波には十分注意しましょう。

☆気象情報に注意しましょう！

最新の気象情報で釣り場の天候を予測し、荒天が予想される場合は、出発を中止する勇気が必要です。

また、釣り中に天候が悪化してきた場合も、早めに釣りを止めて帰宅しましょう。各海上保安部管内の主要な灯台における気象状況（風向・風速）をインターネット、携帯電話、一般電話でリアルタイムに入手できます。

仙崎海上保安部M I C S
（沿岸域情報提供システム）

